

2019年2月4日

スカパーJSAT 株式会社

光データ中継事業の共同展開に向けてエアバス社と覚書を締結

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）は、Airbus Defence and Space GmbH（本社：ドイツ ミュンヘン、CEO：Dirk Hoke、以下エアバス社）との間で、光データ中継衛星事業の共同展開を目的とした覚書を締結したことをお知らせいたします。

エアバス社は、2016年に赤道上空約36,000キロメートルの静止軌道上に光データ中継衛星（EDRS-A）を打ち上げ、世界に先駆けて光データ中継事業を開始しています。地上約800キロメートルにある地球観測衛星が撮像する地表の画像データを、光データ中継衛星が光衛星間通信により宇宙空間で直接受信し、地上に設置されているアンテナに向けて日々中継（送信）しています。エアバス社は2機目以降の光データ中継衛星の打ち上げも計画しており、将来的には複数の光データ中継衛星により静止軌道衛星間をも光通信で接続し、地球の裏側で撮像されたデータであっても地上にいるユーザーが準リアルタイムで入手することが可能となる全地球規模での光データ中継衛星システムへと拡張する構想（スペースデータハイウェイ構想）を打ち出しています。



スペースデータハイウェイ構想（イメージ図）
エアバス社提供

今回のエアバス社との覚書のもと、スカパーJSAT がアジア・パシフィック地域を対象とした光データ中継事業をエアバス社と共同展開するための具体的な検討を開始いたします。近年、地球観測データは技術の発展とともに急速に増加しており、同時に衛星撮像データの送信・解析の即時性が求められるようになってきています。スカパーJSAT は、地球観測情報を迅速・広範囲・大容量でお客様に送り届けることにより、刻一刻と変化する地球環境や、災害時に求められる迅速な状況把握等を支援することに注力してまいります。

以上

SKY Perfect JSAT Corporation

News Release



SKY Perfect JSAT
Group

(ご参考)

【エアバス社について】

エアバスは航空、宇宙、その他関連ビジネスにおいて世界をリードするグローバル企業です。2017年の売上は590億ユーロ。約12万9,000人の従業員を擁します。100席から600席以上を装備する旅客機を幅広く提供します。また、タンカーや戦闘機、輸送機、特殊任務機を提供する他、宇宙分野でも世界を代表する企業の一社として事業を展開しています。ヘリコプター分野においては世界中で効率性の高い民間・軍用ヘリコプターを提供します。

(ウェブサイト：<https://www.airbus.com/>)